



# Microsoft Azure への Cisco Business Dashboard のインストール

Cisco Business ダッシュボードは、Azure Marketplace 経由で Microsoft Azure (<https://azuremarketplace.microsoft.com>) で使用可能です。Azure Marketplace に移動し、「Cisco Business Dashboard」を検索して製品の一覧を見つめます。

Microsoft Azure では、Cisco Business Dashboard のライセンスは所有ライセンス持ち込み (BYOL) モデルを通じて提供されます。このモデルでは、デバイスライセンスは、お使いのハードウェアにダッシュボードが導入された場合とまったく同じ方法で、[Cisco Smart Licensing] を使用して管理されます。デバイスライセンスは、シスコのリセラーを通じて購入できます。

Cisco Business ダッシュボードを Azure で展開する前に、Azure アカウントが必要です。Azure で使用を開始するには、<https://azure.microsoft.com/en.us/get-started/> を参照してください。

Azure Marketplace から Cisco Business ダッシュボードを展開するには、次の手順を実行します。

1. Azure Marketplace (<https://azuremarketplace.microsoft.com/>) に移動し、Azure アカウントにログインします。
2. 検索ボックスに Cisco Business ダッシュボードを入力します。リストを選択し、[今すぐ入手 (Get It Now)] ボタンをクリックします。
3. 使用しているプランを確認し、[続行 (Continue)] をクリックします。
4. [作成 (Create)] をクリックして、選択した Cisco Business ダッシュボードイメージの [仮想マシンの作成 (Create a virtual machine)] ページを開きます。
5. 残りのフォームに入力し、環境に適した設定を選択します。



**注** ここで作成したユーザー名が、このインスタンスの管理者アカウントになります。別の Cisco Business ダッシュボードの展開では、デフォルトの管理者ユーザー名は `cisco` であり、そのユーザー名は Cisco Business ダッシュボードのマニュアルで使用されています。マニュアルでユーザー名 `cisco` でログオンするように指示されている場合は、ここで作成したユーザー名を代わりに使用する必要があります。

6. 各設定ページをクリックして仮想マシンの設定をカスタマイズするか、[確認して作成 (Review+Create)] をクリックしてデフォルトを受け入れ、セットアッププロセスの最後までスキップします。
7. [作成 (Create)] をクリックして、仮想マシンインスタンスを作成します。作成したインスタンスは、Azure ポータルで管理できます。

または、次の手順を使用して、Cisco Business ダッシュボードを Azure ポータルから直接展開できます。

1. Azure ポータル (<https://portal.azure.com>) にログインします。
2. [仮想マシン (Virtual Machines)] ページを開き、[作成 (Create)] をクリックして新しい仮想マシンを作成します。
3. 仮想マシンの名前を入力し、[イメージ (Image)] の下のドロップダウンメニューで [すべてのイメージを表示 (See all images)] をクリックします。
4. Marketplace の検索ボックスに Cisco Business ダッシュボードを入力し、表示されるリストからプランを選択します。
5. 残りのフォームに入力し、環境に適した設定を選択します。




---

**注** ここで作成したユーザー名が、このインスタンスの管理者アカウントになります。別の Cisco Business ダッシュボードの展開では、デフォルトの管理者ユーザー名は `cisco` であり、そのユーザー名は Cisco Business Dashboard のマニュアルで使用されています。マニュアルでユーザー名 `cisco` でログオンするように指示されている場合は、ここで作成したユーザー名を代わりに使用する必要があります。

---

6. 各設定ページをクリックして仮想マシンの設定をカスタマイズするか、[確認して作成 (Review+Create)] をクリックしてデフォルトを受け入れ、セットアッププロセスの最後までスキップします。
7. [作成 (Create)] をクリックして、仮想マシンインスタンスを作成します。作成したインスタンスは、Azure ポータルで管理できます。

インスタンスが起動すると、Cisco Business ダッシュボードアプリケーションが自動的に起動されます。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。